

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 産地競争力強化への集出荷施設整備  
計画作成主体 : 富良野市農業再生協議会  
対象品目 : 玉ねぎ (産地面積: 1,376ha)  
主な取組主体 : ふらの農業協同組合  
成果目標 : 集出荷コストの10%以上の削減  
助成金の活用 : 整備事業 (玉葱茎葉処理施設)  
状況

## ポイント

労働力が不足しているなか、茎葉付での省力的な収穫作業への移行により労働時間を短縮させて茎葉付面積を拡大、また、玉葱茎葉処理施設を増設し処理能力を増加することにより施設管理運営コストを削減することで集出荷コストを削減し、産地の競争力を向上させる。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状:H27年度

集出荷コスト: 12.4千円 / 10a  
労働時間: 26.68h/10a  
茎葉付玉葱面積: 1,101ha

目標:H30年度

集出荷コスト: 9.9千円 / 10a  
労働時間: 25.26h/10a  
茎葉付玉葱面積: 1,376ha



ハーベスター収穫からピッカー収穫へ



## 推進体制

地域の農業関係機関(各自治体、農業協同組合、普及センター、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

主な取組

収穫体系が変わるため、スムーズに移行するよう技術指導やマニュアルの作成等を行う。

道・市町村単独事業

「中山間地域等直接支払制度」と連携し、機械導入助成事業により共同化を進めてコストの低減を図り、また共同活動や法人化に向けた取組を進めることで労働時間の短縮を図る。

## 事業効果

玉葱茎葉処理施設を増設により管理運営コストが削減され産地競争力が向上。茎葉付の省力的な収穫体系への移行による茎葉付玉葱面積の拡大により農業者の労働時間が短縮。

~ 集出荷コスト(10aあたり) ~

